



## 全国のエンジニアに求められるVMwareのテクノロジー 自ら学べるオンデマンド トレーニングで “学び方改革”を推進



### 業界

#### SYSTEM INTEGRATOR

### 課題

- VMwareのテクノロジーに精通したエンジニアの拡充
- 全国各地の技術者に公平な学習環境を提供
- 多忙なエンジニアへの学習時間の確保

### ソリューション

クラウド基盤ビジネスの加速によってVMware製品へのニーズが高まるにつれ、全国のエンジニアへの教育が急務に。その打開策として、オンデマンドトレーニングコースを採用し、自由な時間で受講できる環境を提供。カリキュラムの進捗を受講者自身に管理させることで、自ら学ぶ姿勢の育成も期待できる。

### 導入効果

- コストを抑えながら受講者数の増加を実現
- 場所と時間を選ばず受講できる
- 業務状況に応じて自在に進捗を管理できる

### 導入環境

- VMware オンデマンド トレーニングコース

ネットワークシステムズは、高度なネットワーク技術をベースとして、クラウド、セキュリティ、IoT、働き方改革といった最先端のICT基盤を提供しています。特に、仮想化技術・クラウド技術は、近年の企業ITには欠かせないものであり、それらを提供するための人材強化が最優先課題でした。ネットワークシステムズでは、全国のエンジニアを効率よく効果的に育成するため、VMware Education サービスの「オンデマンド トレーニングコース」を採用しました。

### 自ら考え、自ら成長する 自律したエンジニア

ネットワークシステムズは、ネットワーク技術に強いインテグレーターとして、創業以来さまざまな企業・組織のICTを支援してきました。ニーズの変化に伴って、ネットワークはもちろん、セキュリティ、仮想化、クラウド、IoTといった先端技術のノウハウも蓄積しています。

ネットワークシステムズのビジネスを支えるのは、やはりエンジニアです。同社は東京に本社と複数のオフィスを構えているほか、名古屋や大阪をはじめとする全国の主要地域に拠点を設けています。各拠点には、インフラ技術や先端技術に精通したエンジニアが在籍しており、全国のユーザーのICT環境を支えています。

「私たちは自らを、最適な技術や製品を提供するための“実験台”と捉えています。実験台になるには、優れた技術力や洞察力が必要です。そこで当社のエンジニアには、自ら考え、成長する力が求められています。現場で発生する事象は、教科書には記されていないからです」と、ビジネス推進本部 第1応用技術部 ネットワークアカデミーチーム マネージャーの板倉恭子氏は述べています。

昨今のIT技術は、私たちの想像を超えるスピードで発展しています。製品やサービスも高頻度でバージョンアップされるようになりました。ユーザー企業がこの速度に追いつくのは至難であり、ネットワークシステムズが代理として技術や製品を追求する役割を担っています。そのため当社にとって、優れた人材の育成は重要なミッションです。

板倉氏の所属するネットワークアカデミーは顧客向けの教育機関ですが、自社の新人研修を統括しているほか、各部門の人材育成もサポートしています。専門機関を通じて戦略的な人材育成に取り組んでいることは、ネットワークシステムズの強みの1つです。

### 仮想化技術・クラウド技術は エンジニアに必須の知識

さまざまなIT技術の中でも仮想化技術は、あらゆる企業ITに浸透している極めて重要な技術です。特にVMwareのテクノロジーは、サーバやストレージ、ネットワーク、エンドポイントに至るまで、仮想化技術のスタンダードとなっており、クラウド環境までカバーしています。ネットワークシステムズも古くからVMware製品を取り扱い、多数のユーザー環境に導入してきました。

東日本第2事業本部 第3営業部 技術第5チームの宮本賢志氏は、「専任のチームを形成して、仮想化技術に取り組むユーザーが増えています。ネットワーク仮想化やデスクトップ仮想化といった、サーバ以外の技術にも積極的です。そのため各技術に精通していないと、顧客のニーズに応えることができません。特にVMware製品は利用者も多く、その知識やノウハウは欠かすことができません」と指摘します。

もともとネットワークシステムズでは、自社のVMwareインストラクターによるトレーニングクラスを設けていました。しかしVMware関連の案件が増えるにしたがって、十分な教育を提供することが困難になってきたのです。

そこで同社は、「VMware オンデマンド トレーニングコース」を採用しました。30日間の期間内であれば、いつでもどこでも講義ビデオを視聴してカリキュラムをこなすことができるサービスです。



ネットワークシステムズ株式会社  
ビジネス推進本部  
第1応用技術部  
ネットワークアカデミーチーム  
マネージャー  
板倉 恭子氏

「講義で“教えてもらう”だけでは、自ら考えて成長できる人材は育ちません。VMware オンデマンドトレーニングコースは、自由に講義の時間を選べますが、“自ら学ぶ”姿勢も必要です。その点で、当社が目指す“学び方改革”にマッチしています」

ネットワークシステムズ株式会社  
板倉 恭子 氏



ネットワークシステムズ株式会社  
ビジネス推進本部  
第1応用技術部  
ネットワークアカデミーチーム  
荒牧 エリ 氏



ネットワークシステムズ株式会社  
東日本第2事業本部  
第3営業部 技術第5チーム  
宮本 賢志 氏



ネットワークシステムズ株式会社  
東日本第1事業本部  
第1営業部 技術第9チーム  
橋本 愛 氏



ネットワークシステムズ株式会社  
西日本事業本部  
システム技術部 第1チーム  
松下 暁一 氏

### カスタマープロフィール

1988年に創業し、高度なネットワーク技術をベースとして、クラウド、セキュリティ、IoT、働き方改革といった世界最先端のICT基盤を提供するインテグレーター。顧客ニーズに応じて、マルチベンダー製品を組み合わせた基盤設計・構築・運用が実現できる点に強みがある。

### オンデマンドコースで 自ら学ぶ姿勢を育成

ネットワークシステムズがオンデマンドトレーニングコースに注目したのは、単に受講しやすいからというだけではありません。同社では「学び方改革」の取り組みを推進していました。

ビジネス推進本部 第1応用技術部 ネットワークアカデミーチーム エキスパートの荒牧エリ氏は、「働き方改革は、自ら働く環境を選び、管理することが肝要です。同様に人材育成においても、一方的に“教えてもらう”のではなく“自ら学ぶ”という意識改革を図りたかったのです。オンデマンドトレーニングコースは、私たちが目指す改革にマッチすると感じました」と述べています。

同社では、まず2018年上期に30名の受講者を募集しました。自由に時間を選択できるとはいえ業務時間を活用するため、部門長の承認を必須としましたが、ポータルサイトで募集を開始すると、たった1日で満席になってしまったそうです。

「当社は積極的なエンジニアが多いため、私の上司も混雑することを予測して手続きを早めてくれました。以前からVCPを取得したいと考えていたので、いつでも学べるオンデマンドコースは助かりました。実際、ある時期から忙しくなることが判明したため、急いでカリキュラムをこなして間に合わせることができました」と、東日本第1事業本部 第1営業部 技術第9チームの橋本愛氏は評価しています。

西日本事業本部 システム技術部 第1チームの松下 暁一氏はベテランエンジニアですが、知識を固めるために受講を申し込んだ1人です。同氏の上司も積極的で、同じ部署の同僚も受講したそうです。

「VMwareの構築方法を1から学び直すことができ、非常に勉強になりました。先生がいないため、疑問を相談したり聞いたりする機会がないものの、同僚と相談しながらカリキュラムを進めることで

モチベーションを保つことができました」(松下氏)

### ライブオンラインなど 教育コンテンツの拡充に期待

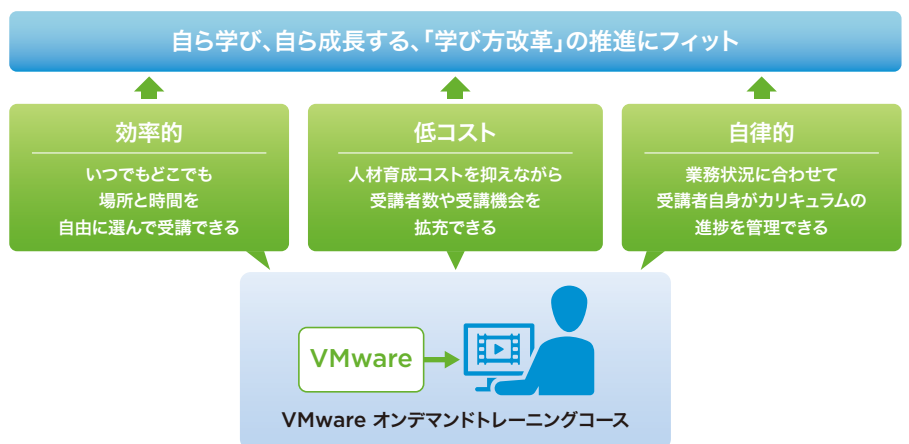
オンデマンドコースは、全国のエンジニアが自席で受講できるため、交通費や宿泊費などが不要です。また、一般のクラスルームよりも安価に受講できるのでコストの抑制が可能になり、以前より受講人数を増やせたことを、ネットワークシステムズは高く評価しています。

「新しい取り組みということもあって、問い合わせは増えました。“席は空いていますか”という積極的なものも増えており、学び方改革に向けた効果を実感しています。VMwareは、機能強化にも積極的に取り組んでくれるため、管理面でも使いやすくなってきたと感じます。人事システムなどとの連携も期待したいですね」(荒牧氏)

ネットワークシステムズでは、2018年後期以降もオンデマンドトレーニングコースを積極的に活用していきたいと考えています。しかし、ディスカッションを必要とする教育については、オンデマンドコースでは不足を感じているのも事実です。

そこで同社は、VMware Educationの新しいサービス「ライブオンライン」に注目しています。日程は限定されるものの、場所を選ばずオンラインで受講できるクラスです。トレーナーと会話をしながらカリキュラムを進められるため、より高度なトレーニングを受けることができます。

「特に最新の技術や製品を学ぶときには、VMwareのスペシャリストから指導を受けられることが魅力です。また、学ぶ環境の選択肢が豊富であることは、エンジニアにとって重要なことです。VMwareには、コンテンツとともに日本語の動画・音声・ドキュメントを拡充して、エンジニアがより学びやすい環境を整備してほしいと考えています」(板倉氏)



図：VMware オンデマンドトレーニングコースの採用で「学び方改革」を推進